

残 存 障 害 診 断 書

										認定番号			
氏 名						生年月日		年 月 日 (歳)					
被 災 日		年 月 日			治ゆ又は症状固定日			年 月 日 治 ゆ 症状固定					
入院期間		年 月 日から 年 月 日まで ()日間				通院期間		年 月 日から 実治療日数 年 月 日まで ()日					
傷病名		(初診時の症状及び経過)					既存 障 害	(部位・程度・状況等)					
残 存 障 害 の 内 容													
主訴 自覚 又は症 状													
他覚 症状 及検 び査 結果													
種類		残 存 障 害 の 程 度 及 び 内 容											
眼 球 の 障 害		視 力		調 節 機 能		視 野 狭 窄 (8方向)							
		裸眼	矯 正	近点・遠点・屈折力等	調 節 力	上	上外	外	外下	下	下内	内	内上
		左			() D								
		右			() D								
		眼動 球障 運害	1 複視の有無 イ 正面視にて複視を生ずる ロ 左右上下視にて複視を生ずる	2 注の 視広 野さ	左 右 両 眼								
眼障 瞼 の害		※眼瞼・まつ毛の欠損、運動障害											
聴耳 力介 障の 害欠 と損		オーディオメーター検査成績				語音明瞭度検査		人声聴力検査成績					
		左	$\frac{a()+2b()+2c()+d()}{6} = []db$			最良明瞭度 %		大 声 話声語	不能・接耳・ 可能 [] cmにて 可能				
		右	$\frac{a()+2b()+2c()+d()}{6} = []db$			最良明瞭度 %		大 声 話声語	不能・接耳・ 可能 [] cmにて 可能				
		※耳鳴の有無及びその程度				※耳介の欠損程度							
鼻障 の害		※鼻軟骨の欠損程度		※鼻の機能障害 (鼻呼吸・嗅覚等について)									
		全部・大部分・一部分											
言 語の 機障 能害		※ 1 発声機能の完全喪失 2 中枢性失語症…〔運動性・感覚性・その他 () 〕 3 発音機能障害…発音不能語音 (口唇音・歯舌音・口蓋音・喉頭音) 4 その他…						外歯 ば牙 うの の欠 醜損 状障 又害 は		〔 醜状痕の部位、長さ、大きさ、醜状度等〕 歯牙欠損の歯列程度、補てつの方法等〕			
そ機 し能 ゃの く障 害		※ 1 流動食以外は摂取できない 2 粥食程度なら摂取できる 3 ある程度固形食は摂取できるが、これに制限があつて そしゃくが充分でないもの											

(注) 視野の測定は、ゴールドマン型視野計によって下さい。

